

後期基本計画の全体構成案について

基本構想・前期基本計画

I 序論

- 1 総合計画策定の趣旨
- 2 総合計画の位置づけ
- 3 総合計画の特徴
- 4 総合計画の構成と期間

- 5 社会経済情勢の変化
- 6 白井市の特性

II 基本構想

- 1 基本理念
- 2 将来像
- 3 まちづくりの基本的視点
- 4 まちづくりの重点戦略
- 5 まちづくりの進め方
- 6 将来人口
- 7 将来都市構造

III 前期基本計画

- 1 前期基本計画の概要
 - (1) 計画の位置づけ
 - (2) 計画の構成
 - (3) 計画の期間
 - (4) 計画の体系
 - (5) 財政の見通し
 - (6) 計画の推進にあたっての基本的な考え方
- 2 まちづくりの重点戦略
- 3 まちづくりの進め方

IV 資料編

- 1 分野別個別計画の体系
- 2 財政推計（計画策定に係る基礎資料）
- 3 策定の経過
- 4 諮問・答申
- 5 総合計画審議会
- 6 策定組織体制

基本構想・後期基本計画（案）

I 序論

- 1 総合計画策定の趣旨
- 2 総合計画の位置づけ
- 3 総合計画の特徴
- 4 総合計画の構成と期間

- 5 後期基本計画策定にあたって
 - (1) 前期基本計画の取組状況
 - (2) 社会経済情勢の変化
 - (3) 白井市の特性

II 基本構想

- 1 基本理念
- 2 将来像
- 3 まちづくりの基本的視点
- 4 まちづくりの重点戦略
- 5 まちづくりの進め方
- 6 将来人口
- 7 将来都市構造

III 後期基本計画

- 1 後期基本計画の概要
 - (1) 計画の位置づけ
 - (2) 計画の構成
 - (3) 計画の期間
 - (4) 計画の体系
 - (5) 財政の見通し
 - (6) 計画の推進にあたっての基本的な考え方
- 2 まちづくりの重点戦略
- 3 まちづくりの進め方

IV 資料編

- 1 分野別個別計画の体系
- 2 財政推計（計画策定に係る基礎資料）
- 3 策定の経過
- 4 諮問・答申
- 5 総合計画審議会
- 6 策定組織体制

前期基本計画のレイアウト（戦略部分）

戦略1 若い世代定住プロジェクト

プロジェクトの狙い

白井市は、千葉ニュータウンの開発により短期間に人口が急増したため、今後、急速に高齢化が進みます。持続可能な魅力あるまちづくりを進めていくためには、市民の年齢構成のバランスが大切です。

出産や子育てへの支援の充実、市内で働ける場づくり、若い世代が住みたくなる住宅や暮らしやすい環境を整えることで、白井市に魅力を感じる若い世代を増やして定住を促進し、世代間バランスのとれた活力あるまちづくりを目指します。

ある一家の風景

若田さん家はお父さん、お母さん、お兄ちゃんと妹との4人家族です。

ある日、若田さん家では、みんなで朝ご飯を食べた後、お父さんは妹と一緒に白井駅に向かい、駅前の小規模保育所に妹を預けてから、北総線に乗って、東京に仕事に行きました。お母さんは、お兄ちゃんを小学校へ送り出した後、白井の工業団地の会社に出勤しました。

お母さんは、工業団地での仕事を終えて、白井駅前に妹を迎えに行き、家に帰りました。家に帰ると、近くに住むおばあちゃんが小学校から帰ってきたお兄ちゃんの面倒をみてくれていました。

お母さんは、夕食の準備をしながら、お兄ちゃんに「学校は楽しかった？」と聞くと、お兄ちゃんは「今日は、近所のおじちゃんが学校にきて、白井市について教えてくれて、とっても楽しかったよ」と満足顔です。

お父さんが帰ってきて、みんなで夕ご飯を食べながら、明日の休日にどこに行こうかと話していたら、お兄ちゃんが「総合公園に行って、滑り台で遊んだり、走ったりしたい！」と言ったので、お父さんは「じゃあ、腕によりをかけてお弁当を作るから、みんなで総合公園に行つて遊ぼう！」とはりきり、話が盛り上がっています。

戦略1-1 ゆとりある暮らしを支えるまちづくり

取組目標

- 市街地や集落地などが緑や田園空間に包まれ、ゆとりの環境や都心へのアクセスが良いという特性を活かし、子どもや若い世代が白井らしい豊かな暮らしを楽しめる環境を整えていきます。
- みどりの中にある文化資源を活かし、若い世代も含めて白井市の魅力を感じる、ゆとりある良好な暮らしの実現を目指します。

目標実現に向けた取り組み

(1) 若い世代が魅力を感じるゆとりある住環境整備の促進

民間企業等と連携した住宅のリノベーション支援や菜園等が近接した良質な住宅の供給を促進します。

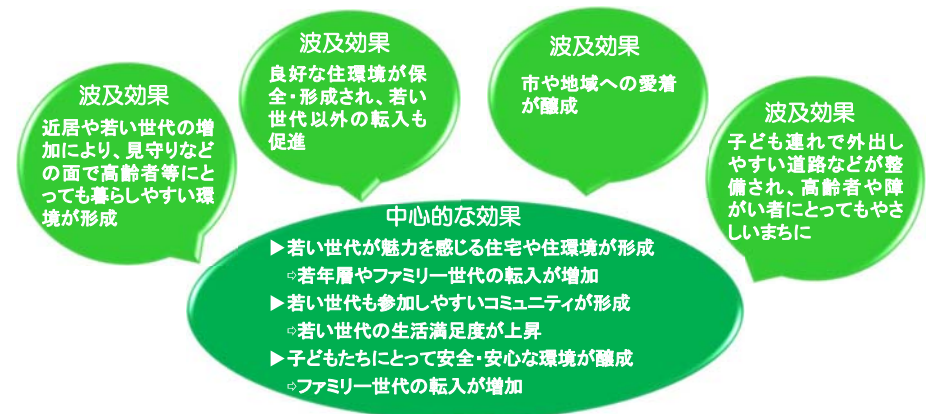
(2) 子ども連れで外出しやすい道路や公園・広場などの機能整備

公共施設のバリアフリー化を進めるとともに、公園・広場に子育ての場としての機能を整備し、利用しやすい環境をつくります。

(3) みどりや文化資源などを活用した魅力ある暮らしの促進

市民団体等と連携しながら、若い世代がみどりやその中にある歴史や文化資源の魅力を発見できる機会をつくります。

期待される効果



後期基本計画のレイアウト案（戦略部分）

戦略1 若い世代定住プロジェクト

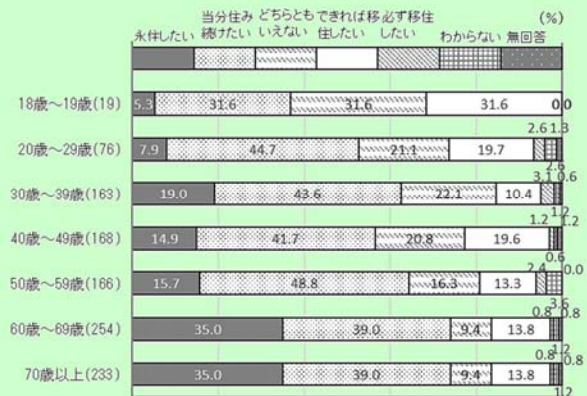
プロジェクトの狙い

白井市は、千葉ニュータウンの開発により短期間に人口が急増したため、今後、急速に高齢化が進みます。持続可能な魅力あるまちづくりを進めていくためには、市民の年齢構成のバランスが大切です。

出産や子育てへの支援の充実、市内で働ける場づくり、若い世代が住みたくなる住宅や暮らしやすい環境を整えることで、白井市に魅力を感じる若い世代を増やして定住を促進し、世代間バランスのとれた活力あるまちづくりを目指します。

追加 統計データ・アンケート結果等

◆市民の定住意向（第13回住民意識調査：H26）



◆白井市に転入した理由（転入者アンケート調査：H31）



ある一家の風景

若田さん家は、お父さん、お母さん、お兄ちゃんと妹との4人家族です。

ある日、若田さん家では、みんなで朝ご飯を食べた後、お父さんは妹と一緒に白井駅に向かい、駅前の小規模保育所に妹を預けてから、北総線に乗って、東京に仕事に行きました。お母さんは、お兄ちゃんを小学校へ送り出した後、白井の工業団地の会社に出勤しました。

お母さんは、工業団地での仕事を終えて、白井駅前に妹を迎えに行き、家に帰りました。家に帰ると、近くに住むおばあちゃんが小学校から帰ってきたお兄ちゃんの面倒をみてくれていました。

お母さんは、夕食の準備をしながら、お兄ちゃんに「学校は楽しかった？」と聞くと、お兄ちゃんは「今日は、近所のおじちゃんが学校にきて、白井市について教えてくれて、とっても楽しかったよ」と満足顔です。

お父さんが帰ってきて、みんなで夕ご飯を食べながら、明日の休日にどこに行こうかと話していたら、お兄ちゃんが「総合公園に行って、滑り台で遊んだり、走ったりしたい！」と言ったので、お父さんは「じゃあ、腕によりをかけてお弁当を作るから、みんなで総合公園に行って遊ぼう！」とはりきり、話が盛り上がっています。

写真やイラスト

戦略1-1 ゆとりある暮らしを支えるまちづくり

取組目標

- 市街地や集落地などが緑や田園空間に包まれ、ゆとりの環境や都心へのアクセスが良いという特性を活かし、子どもや若い世代が白井らしい豊かな暮らしを楽しめる環境を整えていきます。
- みどりの中にある文化資源を活かし、若い世代も含めて白井市の魅力を感じる、ゆとりある良好な暮らしの実現を目指します。

成果指標

追加

指標名	現状値	目標値

目標実現に向けた取組

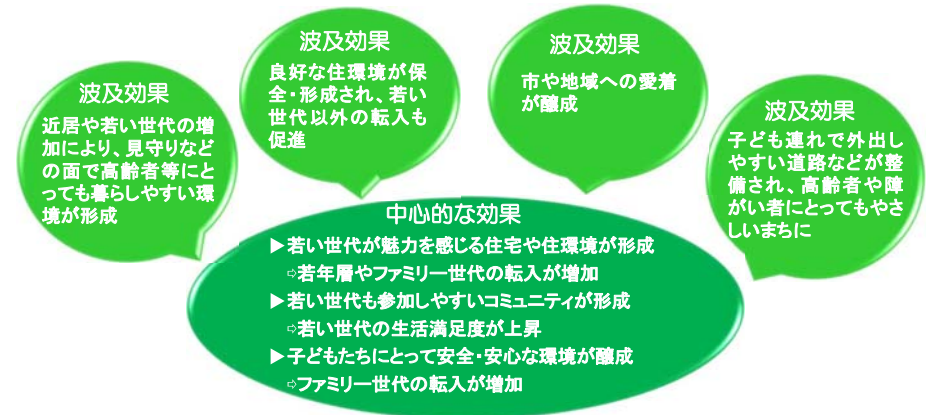
- (1) 若い世代が魅力を感じるゆとりある住環境整備の促進
民間企業等と連携した住宅のリノベーション支援や菜園等が近接した良質な住宅の供給を促進します。
- (2) 子ども連れで外出しやすい道路や公園・広場などの機能整備
公共施設のバリアフリー化を進めるとともに、公園・広場に子育ての場としての機能を整備し、利用しやすい環境をつくります。
- (3) みどりの文化資源などを活用した魅力ある暮らしの促進
市民団体等と連携しながら、若い世代がみどりやその中にある歴史や文化資源の魅力を発見できる機会をつくります。

取組指標

追加

指標名	現状値	目標値

期待される効果



市民等との役割分担

追加

- (例)
- 地域への愛着や地域の活力の向上を図るために、市民が公園の運営や維持管理などに主体的に関わっていくことが期待されます。
- 市民や市民団体と行政が協働して、市民がみどりに触れ合う機会を創出していくことが期待されます。